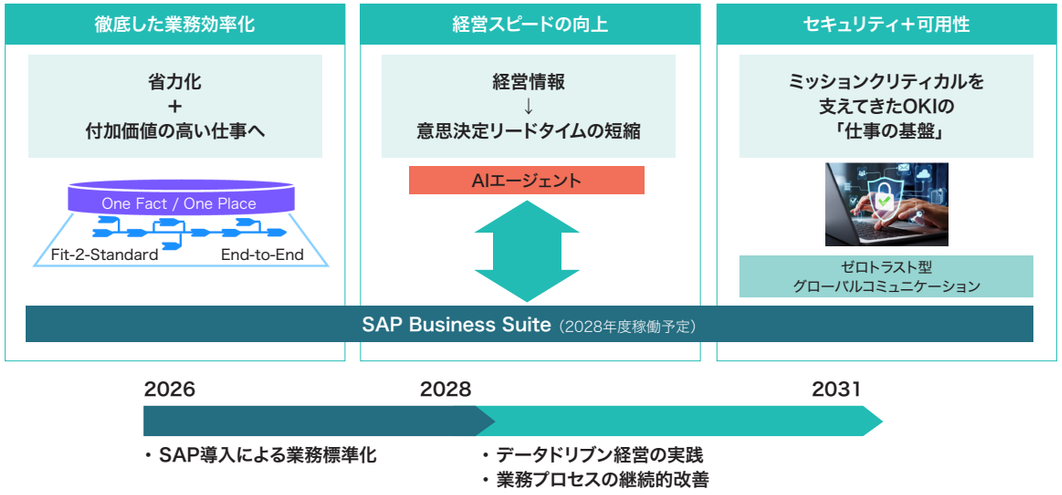
経営システム改革

戦略の高度化には、それに見合った経営システムとそれを実行する人財・組織能力が必要になります。
現在のERPは長年マイグレーションを繰り返してきたもので、将来を見据えこのタイミングで刷新し、業務プロセスを全面的に見直す決断をしました。

「未来デザイナー」へ進化するための、社内変革基盤の構築

戦略の高度化にはそれに見合った経営システムへの刷新が必要であり、そのためには、時代の最新・最良のシステムを先駆けて導入し、そのシステムに合わせた業務プロセスを構築することが必要です。これは、これまで慣れ親しんだ業務手順からの脱却を意味する果敢なチャレンジになります。経営計画2031の前半3年間で、SAPを導入した新経営システムを確立します。

それにより、常に最新AIを駆使した、経営スピード向上・全業務における徹底的な業務効率化・生産性向上を実現します。また、同時にセキュリティ＋可用性が共存する仕事の基盤を整備します。ゼロトラスト型のグローバルコミュニケーション・インフラを構築し、国内外で安全に、スムーズに、同じスピード感で協働できる「仕事環境」を整えます。ミッションクリティカルを支えてきたOKIとして、セキュリティと可用性は妥協しません。



目指す変革の北極星：現場のFACTを組織、個人の力に変える

OKIの従来のシステム、プロセスは各部門が使いやすいよう部分最適で構築されてきました。その結果、各システムで統一性のないデータが生成され、経営判断に必要なデータの可視化に多くの人手、時間がかかっていました。

この状況から脱却し、社員一人ひとりが生き生きと働くための変革の北極星（ありたい姿）を「現場のFACTを組織、個人の力に変える」としました。

SAP導入を契機に、プロセスの標準化も進め、一貫性のあるデータ（FACT）がシステムから生成されるよう改革を推進することにより、データの可視化にとられていた多くの工数を、付加価値を生む業務へシフトします。そして、この一貫したデータを共通言語として、社員の誰もが参照、利用可能とすることにより改革のベクトルが同じ方向に向くようにします。加えて、データを利活用するAI基盤も整備していきます。AI活用により判断を高度化し、価値創造の質とスピードを向上させます。

